

水害の脅威に、 さらされる私達の街。

大切な命、いつもの暮らしを、あつという間に奪っていく水害。
少しでも被害を減らすためには、避難ルートの確認や水防訓練への参加など、普段からの備えが大切です。



地域の防災訓練



砂袋の設置作業

洪水から守ろうみんなの地域



水防月間

平成29年5月1日(月)～5月31日(水)

北海道は平成29年6月1日(木)～6月30日(金)

身近な川の情報はこちらへ

- パソコン <http://www.river.go.jp/>
- スマートフォン <http://www.river.go.jp/s/>
- 携帯電話 <http://i.river.go.jp/>



携帯電話QRコード

主催：国土交通省、内閣府、都道府県、水防管理団体（市町村等）

後援：警察庁、防衛省、総務省消防庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、一般社団法人日本新聞協会、一般社団法人日本民放放送連盟、日本赤十字社、協賛：全国水防管理団体連合会、公益社団法人日本河川協会、全国治水期成同盟会連合会、一般社団法人建設者協会の会、一般社団法人全国防災協会、公益社団法人全国防犯協会、一般財団法人河川情報センター、全国建設弘済協議会

水防活動は恐ろしい水害から 安全な暮らしを守ります。

私たちの住んでいる日本は、雨量が多く、急勾配の河川が多い等の条件により、洪水が発生しやすい危険性をもっています。

各地域では、昔から生命や財産を水害から守るため治水対策が行われていますが、多くの費用と長い期間が必要とされるので、まだまだ水害を根絶するにはいたっておりません。

そこで、機敏な対応で水害を未然に防ぎ、また被害を少なくする「水防活動」が自分たちの地域を守るうえで重要な役割を担っているのです。



栃木県鹿沼市消防団 夜間の水防活動



山形県最上町消防団 最上小国川での水防活動 (排水活動)



茨城県八千代町消防団 鬼怒川での水防活動 (積み土のう工法)



宮城県大崎市消防団 吉田川での水防活動 (月の輪工法)

水防とは？

突然洪水などが起きたとき、人命や財産を守るため、その地域に住んでいる人々が様々な技術で被害を最小限に食い止めようと活動することを「水防活動」といいます。

水防活動は、みずからの地域をみずからの手で守るという基本的な考え方をもとに昔から実施されています。

平成28年度の主な水防活動



平成28年度は8月の台風第10号により、北海道や東北で水害に見舞われるなど、各地で相次ぐ台風の上陸や接近に伴う豪雨により、堤防の決壊や内水氾濫などの水害が発生しました。そのような状況の中、水防団は堤防からの越水対策として「積み土のう工」の水防工法を実施するなど、人命の安全確保や被害の軽減に大きく貢献しました。

【平成28年度の主な水防活動】

活動団体	活動時間	出勤延人数	主な活動内容
北見地区消防組合 常呂消防団(北海道)	8/20~8/24 約83時間	129名	・巡視警戒 ・救助活動 ・避難誘導
富良野広域連合 南富良野消防団(北海道)	8/30~8/31 約24時間	109名	・積み土のう工 ・救助活動 ・避難誘導
久慈市消防団(岩手県)	8/29~9/5 約64時間	1,442名	・積み土のう工 ・排水活動 ・避難誘導 ・救助活動
遠野市消防団(岩手県)	8/28~8/31 約14時間	1,098名	・積み土のう工 ・排水活動 ・避難誘導 ・救助活動



十勝川左岸:大型土のう設置により越水を防止。



釧路川左岸:木流し工により川表堤腹崩壊拡大防止。



久慈川右岸:内水排水作業。

平成28年度水防功労者国土交通大臣表彰

平成29年2月7日(火)、水防功労者国土交通大臣表彰式が行われ、洪水に際し被害の軽減に功労のあった団体等、下記の18団体、個人14名が表彰されました。

受賞者

- 洪水に際し被害の軽減に功労のあった団体
 - ① 平成27年関東・東北豪雨
 - ・大崎市消防団、涌谷町消防団(宮城県)
 - ・古河市消防団、下妻市消防団、常総市消防団、神栖市消防団、八千代町消防団、境町消防団(茨城県)
 - ・鹿沼市消防団、日光市今市消防団、日光市藤原消防団、小山市消防団、野木町消防団(栃木県)
 - ② 平成28年台風第11号及び第9号
 - ・北見地区消防組合常呂消防団(北海道)
 - ③ 平成28年台風第10号
 - ・富良野広域連合南富良野消防団(北海道)
 - ・久慈市消防団、遠野市消防団(岩手県)
- 多年にわたり水防活動に従事し功績顕著な者
 - ・林 一幸 岐阜市日野水防団長 ほか13名
- 水防思想の普及に功労のあった団体
 - ・岐阜市立三輪中学校



表彰状授与



表彰式記念撮影

こうして守るみんなの地域

水防活動

人命と財産を水害から守り、被害を最小限に抑えるため、河川が増水したときは、堤防や護岸を巡視し、災害発生の危険性がある箇所では様々な水防工法を実施します。

準備・出勤



■水防倉庫、通信の点検

出勤時に備え、水防倉庫内の資器材（土のう、縄、スコップなど）を点検し、連絡体制の確認を行い、水害に備えます。



■堤防巡視

危険箇所の早期発見とともに水防本部への現状報告をします。

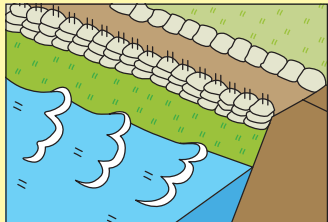


日頃の訓練

日頃から万一の水害に備え、スムーズに水防活動を行えるように、水防訓練を行っています。また、水防の技術的なリーダーの育成や水防技術の向上、若い世代への伝承のために水防技術講習会が催されています。

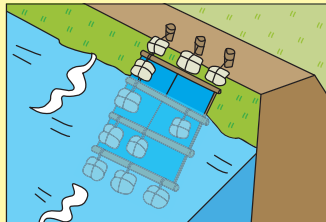
水防工法

状況に応じて最適な水防工法を実施します。堤防の決壊を未然に防いだり、水害を最小限に食い止めるのが目的です。



■積み土のう工法

堤防の上に土のうを積み上げて、水が堤防を越えるのを防ぐ工法で、水防工法の基本ともいえる工法です。ひとつの土のうには、20～30kgの土や砂が詰められ、様々な工法にも使用されています。



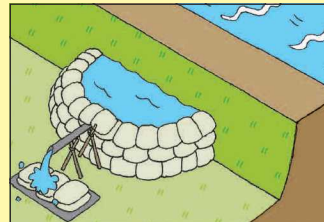
■シート張り工法

水の流れて堤防が削り取られたり、水が漏れたりしないように、防水シート（マット・畳等）を張って堤防を守ります。



■木流し工法

水の流れが急なとき、枝葉のよく繁った木を川に流し、水の勢いを緩やかにして堤防が削られるのを防ぎます。



■月の輪工法

堤防の裏側に水が漏れだしたとき、半円形に土のうを積んで、川の水位と漏れた場所との水位の差を縮めて圧力を弱め、水漏れが広がるのを防ぎます。

非常時・緊急時

水害発生の危険がある場合や水害が発生した非常時には、住民の皆さんに水防活動への協力などをお願いすることがあります。



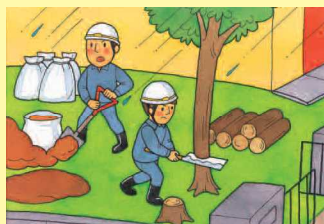
■水防活動への協力要請

協力要請があったときは、進んで水防活動に協力しましょう。



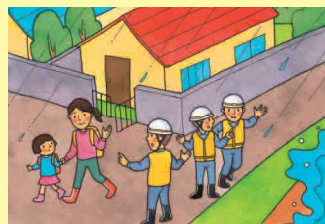
■立入の制限

水防上必要のある場合、警戒区域を設定します。水防活動を速やかに行うため、堤防に車をとめたりしないよう協力してください。



■公用負担

水防活動の現場で、一時的な土地の利用や、竹や木を使わせていただく場合があります。



■立ち退きの指示

立ち退き指示があったときは、あわてず騒がず指示に従ってください。

いざ!

というときのために、
水害への備えをしましょう。

日頃からの備えが、いざというときに
必ず役に立ちます。

家庭では

【事前の備え】

避難場所、避難経路は事前に確認

- 安全な避難を行うためには、避難場所、避難経路を事前に確認しておくことが重要です。
- 予想される浸水が浅い地域に住んでいる場合や既に浸水が始まっている場合には、自宅や隣接建物の2階以上への避難が有効な場合もあります。
- 洪水ハザードマップなどを活用して、適切な避難方法を確認しておきましょう。
- 家族が離れているときの安全確認の方法を決めておきましょう。
- ハザードマップは、以下のURLからご覧いただけます。
<http://disaportal.gsi.go.jp>



非常時の持ち出し品は事前に準備

- 貴重品、衣類、非常用食品などを準備しておきましょう。
- 懐中電灯やラジオの準備も大切です。
- 避難時の荷物は必要最低限にしましょう。



浸水ナビ で自宅の浸水リスクの確認をしましょう!

自宅などの調べたい地点をWEBサイト上で指定することにより、

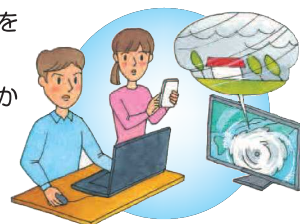
- どの河川が氾濫した場合に浸水するか
- 河川の決壊後、どれくらいの時間で氾濫水が到達するか
- どれくらいの時間、浸水した状態が継続するか

などの浸水リスクを簡単に把握できます。

浸水ナビ <http://suiboumap.gsi.go.jp/>

【台風などが近づいたら】 気象情報や河川情報に注意

- 水害時に避難行動を取るためには、付近を流れる河川の水位の情報や雨量の情報、気象予警報、洪水予警報を把握することが重要です。
- 河川の水位の情報は、国土交通省が提供する「川の防災情報」(以下URL)で確認することができます。あらかじめ水位観測所の位置や避難を判断するための目安となる水位(氾濫危険水位)を確認しておきましょう。
- 浸水後の避難は非常に危険です。早めに避難しましょう。
- なお、河川の水位や雨量の情報は、テレビ、ラジオ、インターネットなどで入手できます。



国土交通省ではインターネットでも
水害の情報を提供しています。

「川の防災情報」

- パソコン <http://www.river.go.jp/>
- スマートフォン <http://www.river.go.jp/s/>
- 携帯電話 <http://i.river.go.jp/>



スマートフォン版
QRコード

事業所では

【避難確保・浸水防止の取組】

- 地下街や地下鉄などの地下施設は、浸水した水が集まる閉鎖的な空間です。このため、河川氾濫時に浸水が想定される区域にある地下施設では、利用者の避難確保や浸水防止のための計画の作成、訓練の実施が義務づけられています。
- 避難に多くの時間を要する高齢者や障害者・乳幼児等が利用する施設では、避難確保のための計画の作成や避難訓練の実施が、いざというときの迅速な避難につながります。
- 工場等においては、浸水防止の取組が事業の継続に役立ちます。



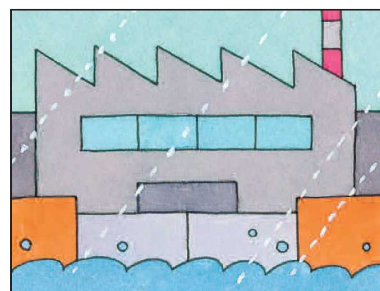
地下入口浸水防止訓練



地下街避難訓練



社会福祉施設避難訓練



工場入口 止水板設置

避難確保・浸水防止の取組をお考えの地下街をはじめとする施設管理者等の皆様をサポートするため、全国各地にある国土交通省 河川関係事務所内に相談窓口「災害情報普及支援室」を設置しております。お気軽にご相談ください。

※詳しくは、右記のWEBサイトをご覧ください。 <http://www.mlit.go.jp/river/jieisuibou.html>

みんなの地域をみんなで守る!

水防団員募集集中!



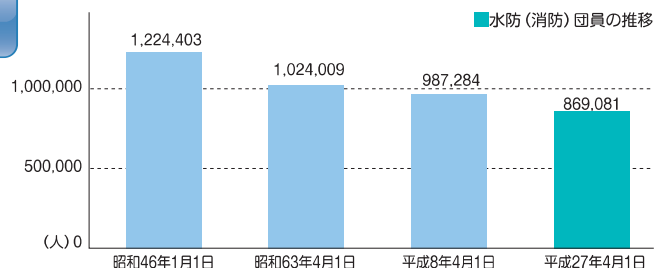
水害を未然に防止し、被害を最小限に食い止め、私たちの生命や財産を守るため貴重な役割を果たすのが **水防(消防)団** です。

一人ひとりが力を合わせてこそ水防は成り立つのです。現在、水防(消防)団員は、減少、高齢化が進んでおり、水防活動の充実を図るためにも是非ともあなたの力が必要なのです。水防(消防)団員は、非常勤の公務員という身分を有しており、市町村等で手当等が支給されます。詳しく知りたい方は居住する市町村等にお問い合わせください。

水防(消防)団員の推移

H8～H27の20年間で、
水防(消防)団員の人員は約12万人減少しています。

現在、全国で約 **87** 万人の団員が
各地で水防活動に従事しています!



水防の大切さをもっと知ってほしいから

水防月間のイベントに参加しましょう!

水防月間イベントは、全国各地で開催しています。
積極的な参加、見学をお待ちしております。



平成29年度総合水防演習実施予定

	演習名	実施日	実施場所
北海道	釧路川総合水防演習・広域連携防災訓練	6月17日(土)	釧路川:北海道川上郡標茶町ルルラン地先
東北	雄物川総合水防演習	5月28日(日)	雄物川:秋田県秋田市茨島地先
関東	第66回利根川水系連合・総合水防演習	5月20日(土)	利根川:埼玉県加須市新川通地先
北陸	荒川総合水防演習	5月27日(土)	荒川:新潟県村上市荒川緑新田地先
中部	狩野川連合総合水防演習・広域連携防災訓練	5月14日(日)	狩野川:静岡県三島市長伏地先
近畿	大和川水防・大阪府地域防災総合演習	5月13日(土)	大和川:大阪府藤井寺市川北地先
中国	天神川総合水防演習	5月28日(日)	天神川:鳥取県倉吉市東蔵城町地先
四国	吉野川・那賀川合同総合水防演習	5月21日(日)	吉野川:徳島県徳島市住吉地先
九州	本明川総合水防演習	5月14日(日)	本明川:長崎県諫早市八天町地先

水防協力団体になりませんか。

水防(消防)団と連携し、水防活動や水防に関する業務を行っていただける水防協力団体を募集しています。

●対象

民間法人、NPO、一般社団法人、一般財団法人、自治会、ボランティア団体等

●業務内容

水防(消防)団が行う水防活動への協力、水防に必要な資材の保管・提供、水防に関する情報収集・提供や調査研究、水防に関する知識の普及啓発等



お問い合わせは
地元市町村まで
お願いします。

水防訓練の支援を行います。

水防工法に関する技術指導、水防に関する講習等を必要とされている団体に水防専門家が出前講座を行います。

●水防専門家とは…

(水防工法等について水防団等に対して指導を行っている方(水防団・消防団OB、国土交通省OB、都道府県OB)で構成されています。)



◆お問い合わせは、公益社団法人
全国防災協会までお願いします。